





4366
27

うまの舟



けまらふゆりて名
たふしのい月より二月まで
のう首句まはらぬ舟にあひ
かひしうまの舟はゆら
まゆれまゝとあふせりせ
とちしと茶らうれおに
らせぬり自まの舟よま
らぬらうれ舟とあふせり
とたうりさそるゆにせ

て夜ふあけひなつら
あけそらきんとあつそ
あけいあけいあけいあけい
あけいあけい

あけいあけい

立花乃小寫の

色ハかりりき

此うきあけい

あけいあけい

くけろふ

けまらぬと初はありてきり
 筆元とてかきうもかかきく
 のめさひより申へまねさう
 世原字流よ白文あまうちの
 三にあらうれ舟はつらひ
 信原とて女房とほ舟れり
 ととさひつらひかきたるれよみ
 うあといちよとてよある
 おころけりよとて蜂踏踏鈴

湯熨 亦育いすの 時時を
よのわしうま生一々うま
そんといまをうまきたと
湯うしこよ

わりとんそ
もあらしうま
これい又あし葉も
あらしうま
うまうま

